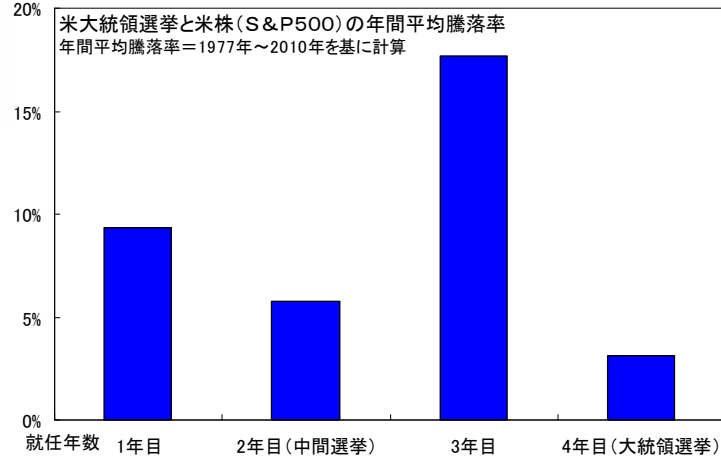


米大統領選挙前年（2011年）の日米株価

- ✓ 米大統領選挙前年にあたる年（今年に該当）は、過去平均すると、米国株価が比較的上昇する傾向があった。
- ✓ 密接な日・米経済のサイクルが影響してか、過去においては日本株でも米国株と同じ結論となった。

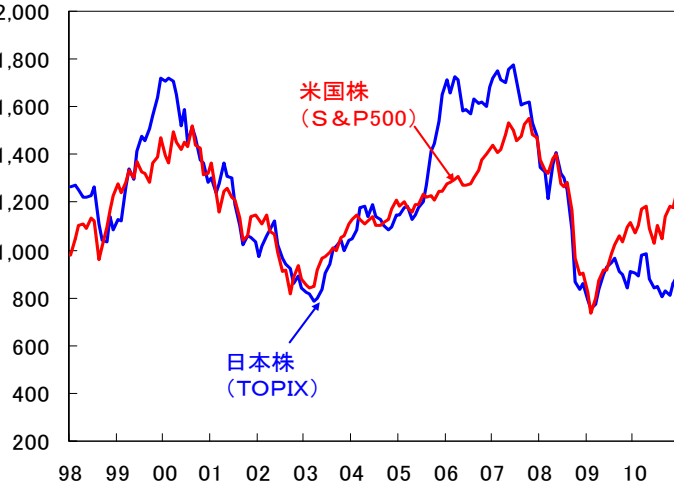
● 米国経済や株価は大統領選挙年を中心とした4年間の政治サイクルの影響を少なからず受けて推移してきました。その背景には、大統領選挙での得票を意識した財政景気刺激対策を事前に講じることが関係していると考えられています。今年は大統領選挙前年（就任3年目）であり、過去は政治サイクル上、株価が最も上昇してきた年となっています（図表①）。実際、昨年の中間選挙での与党大敗もあり、オバマ政権は、ブッシュ減税の延長や給与税減税に加え、金融緩和姿勢の継続を通し、景気刺激的な金融財政政策を実施しています。

【図表①】

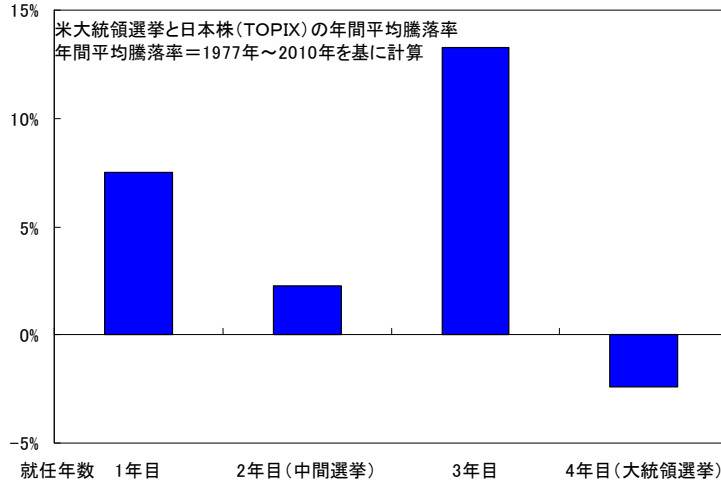


● 日本経済や株価は米国経済・株価の影響を受け推移しているため（図表②）、今年の日本株の動向を探るひとつのキーとして、米大統領選挙サイクルと日本株の年間平均騰落率を図表③に示しました。この見地から見ると、過去、大統領選挙の前年（今年に当たる）は株価が比較的上昇していることがわかります。

【図表②】

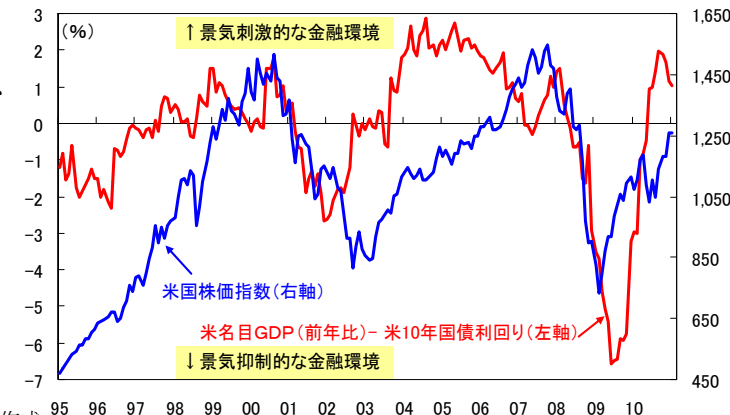


【図表③】



● 現状の米国の金融環境は、長期金利が経済成長（名目GDPの伸び）を下回る景気刺激的なもので、過去を見ると、現状と同じ環境での米国株価は比較的上昇しています（図表④）。

【図表④】



出所：図表は全てブルームバーグのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

当資料は市場環境に関する情報の提供を目的としてニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
 <審査確認番号H22-TB173>